

コミュニティ

社会貢献活動

203-1,203-2,413-1

基本的な考え方・方針

ユニ・チャームは、「事業活動そのものが社会貢献」となる経営を志向しています。具体的には、当社が事業を展開している国・地域それぞれの特性に合致した商品・サービスを提供することによって、さまざまな社会課題を解決し、同地に暮らす人々から「ユニ・チャームの商品・サービスのない生活は想像できない」と思っただけの企業市民になることを目指しています。

▶ 社会貢献活動に関する方針

当社は、事業展開を通じた地域・コミュニティとの共生が重要と認識しています。このため、当社が事業を展開する国・地域や、つながりの深い分野に重点を置き、課題と向き合っています。

社会貢献活動の重点分野

・健康 ・地域貢献 ・被災地支援

マネジメント体制

日本では、ユニ・チャーム株式会社の各部門および各法人が主体性を持って活動を展開しています。また、日本以外の国・地域では現地法人が主体となって、地域に密着した事業運営・社会貢献活動を展開しています。グループ全体の方針決定は、社長執行役員が委員長を務めるESG委員会において協議、決定しています。

社会貢献費用

2024年度の社会貢献費用総額は、159.5百万円(うち寄付53.1百万円)です。

「SDGsの達成」と「地方創生」が相乗効果を発揮する取り組みとすべく、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携を目的として設立された「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に賛同しています。

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

DSGTが「CSR-DIW AWARD 2024」を受賞

タイの現地法人DSG International (Thailand) Public Company Limited (DSGT)は、タイでの社会的責任(CSR)に関する取り組みが評価され、工業省工業事務局(Ministry of Industry, Department of Industry Works:DIW)より「CSR-DIW AWARD 2024」を受賞しました。

CSR-DIWは、DIWが主導する、企業のCSRに関する取り組みを推進するための枠組みで、企業が環境、社会、経済の持続可能性を考慮した経営を実施し、地域社会および環境への貢献を強化することを目的としています。DSGTは、受賞に先立ちDIWによる審査を受け、(1)CSR-DIWの定めるガイドラインを満たす事業運営の仕組み(会社ポリシー、会社組織)に基づき適切に運用がなされていること(2)地域貢献を含むCSR活動がCSR-DIWの定めるガイドラインに準拠して行われていることが認定され、今回の受賞となりました。

取り組み・実績

【健康】#NoBagForMe

日本で2019年6月に開始した、ソフィ「#NoBagForMe」プロジェクトは、女性が自分に合った生理ケアを知り、選び、自分らしく生きられる社会の実現を目指して活動しています。2020年度からは、企業向け研修プログラム「ソフィみんなの生理研修*」を展開し、生理の仕組みや女性の健康に関する正しい知識を身につけることで、社内における性別や体質・体調の違いといった異なる立場の相互理解を促進しています。「ソフィみんなの生理研修」を受講した30の企業・団体を対象に行った「受講後の生理に対する意識と行動変化のアンケート調査」(2023年2月)では、73.3%が「『ソフィみんなの生理研修』の受講後、生理に対する考え方が変わった」と回答しています。

これまでに約560の企業・団体等に研修や動画提供を行いました(2025年3月末時点)。今後も、年齢や性別に関係なく継続的に生理に関する啓発活動を実施し、社会的な理解促進に貢献します。

*当社が社外の企業や団体を対象に“生理にまつわる知識向上と相互理解”を促進するための研修プログラムのこと。

UN Women(国連女性機関)が主導する、メディアと広告によってジェンダー平等を推進し有害なジェンダーのステレオタイプ(固定観念)を撤廃するための世界的な取り組みである「アンステレオタイプアライアンス」の日本支部に加盟しています。



【健康】初潮教育・月経教育

当社は、アジアを中心とした国・地域において初潮教育・月経教育を行っています。この活動によって思春期の少女に、女性の身体や生理に関する基礎的な知識や安全・安心な生理期間の過ごし方、衛生的・健康的な暮らしに必要な知識などの普及啓発に取り組んでいます。

インドの現地法人では、2013年度に現地のNGOなどと協力して、生徒や学生に生理の仕組みや適切なケアを教える教育プロジェクト「Managing Menstruation-My Pride」を開始し、2024年度までの12年間で約66万名が参加しました。このプロジェクトは、女性一人ひとりが月経周期やこれを管理するための知識を学ぶことで快適かつ健康的な生理ケアを実現し、自己肯定感の醸成へとつなげることを目指しています。2024年度は、1,600校以上の学校や大学で月経に関するセッションを行いました。

また、日本や中国、台湾-大中華圏、インドネシア、ミャンマー、ベトナム、タイにおいても、初潮教育・月経教育を行っており、Webサイトでの情報発信や教材・生理用品サンプルの提供を通じた啓発活動を継続しています。

【健康】ピンクリボン活動支援

ピンクリボン活動は、乳がんに関する正しい知識を広め、早期発見と適切な治療の推進などを目的として世界的に行われている啓発活動で、当社も事業を展開している国・地域で本活動に協力しています。

日本では、2008年度よりピンクリボン活動を支援しており、17年目となる2024年度も特設応援サイト「ソフィ ピンクリボン」を開設し、乳がんに対する基礎知識や早期発見のためのセルフチェック方法などの情報発信を行っています。これに併せて、『ソフィ ボディフィット®』でピンクリボンデザインパッケージを期間限定品として発売し、その売上金の一部を寄付しまし

▶ 各国・地域での初潮教育・月経教育の取り組み(2024年度実績)

2024年度実績と内容	
インド	<ul style="list-style-type: none"> 初潮・月経教育(オンライン含む)を1,688校で実施し、約126,000名が受講 母娘で学ぶセッションを46回実施し、約5,000組の母娘が受講 スリシティの農村地域にある5つの公立学校と女子寮で月経衛生に関するワークショップを開催
日本	<ul style="list-style-type: none"> 初潮教育サイト「ソフィ はじめてからだナビ」を通じた情報発信 web https://jp.sofygirls.com/ja/home.html 日本カルミック株式会社と連携し、初潮教育セット約436,000セットを提供
中国	<ul style="list-style-type: none"> 寧夏回族自治区の4校で女子中学生約400名に生理用品サンプルと冊子「はじめてからだナビ」を提供 『SOFY』ブランドのCMに出演する俳優の趙露思さんがアンバサダーを務めている「春藤計画」に参加し、辺境エリアの女子生徒約1,000名に生理用ナプキンと「はじめてからだナビ」を配布 辺境エリアの初潮教育の推進と生理の貧困の改善を図るために、四川省の辺境エリアの女子生徒に「はじめてからだナビ」と生理用ナプキンが入った「少女成長BOX」340ケースを寄付
台湾-大中華圏	<ul style="list-style-type: none"> Webサイトを通じた情報発信 生理用品サンプル5,000セットを提供 (小学校の保健教諭からの支援要請と下着ブランド『Been Teen』との連携) SNSで10~13歳の女子生徒の保護者に初潮セットの応募情報を発信し、12,000セットを提供
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> 初潮教育サイト「Charm Girl's Talk」を通じた情報発信、登録者数85,115名(2024年12月末時点) web https://www.charmgirlstalk.com/ 『CHARM』の公式サイトやインスタグラム等で、生理や生理中の過ごし方、女性の健康についての情報を発信
ミャンマー	<ul style="list-style-type: none"> 初潮教育プログラムを299校で実施し、71,640名が受講
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ホーチミン市とハノイ市を中心に10校で初潮教育を実施。また、138校で約70,000枚のサンプルを配布
タイ	<ul style="list-style-type: none"> 『SOFY』ブランドサイトで初潮教育コンテンツを配信 web https://th.sofyclub.com/th/advice/howtocare/SOFYgirlguidebook.html 中学校、高校、大学の合計204校で初潮教育の冊子を配布

た。また、乳がんの早期予防対策として、全女性社員の乳がん検診費用を会社負担としています。さらに、毎年10月をピンクリボン月間として、社員のピンクリボンバッジやピンクのIDカードストラップ着用などにより、家族や同僚といった身近な人たちと一緒に乳がんについて考える機会としています。



インドネシアの現地法人は、2021年から乳がんに関する正しい知識の普及や、乳がん健診の受診率向上に貢献する活動を続けています。2024年10月には、インドネシア乳がん財団と協働して、ジャカルタ市内の複数の学校から約450名の女子中高生を招き、乳がんの早期発見を目的としたスローガン

「Ayo SADARI Setelah Menstruasi (生理後にセルフチェックしよう)」の説明会を実施しました。説明会では、セルフチェックの方法はもちろん、専門医のトークショーを通じて生徒たちの質問や疑問に答えながら乳がんについて学ぶ機会を提供しました。

また、タイの現地法人は、タイの乳がん研究機関で最も権威がある、「Queen Sirikit Centre for Breast Cancer Center」と協働して、乳がん検診を啓発するピンクリボン活動を実施しました。

[web](https://www.sofy.jp/ja/campaign/pinkribbon.html) 【日本】ソフィ ピンクリボン
<https://www.sofy.jp/ja/campaign/pinkribbon.html>

【健康】 Dengue熱に関する啓発活動

東南アジア諸国連合(ASEAN)は、Dengue熱の予防意識の向上を目的として6月15日を「ASEAN Dengue Day」に制定しており、ASEAN各国でDengue熱に関する啓発活動や予防キャンペーンが実施されます。

タイでは、2024年6月にバンコクで「ASEAN Dengue Day 2024」が開催されました。このイベントは、WHO(世界保健機関)の目標「Dengue熱による死亡者ゼロ」と同じ目標を掲げる取り組みで、2011年度からタイの保健省、疾病管理局および日本大使館が主催しています。2024年度はタイの現地法人Uni.Charm (Thailand) Co., Ltd.(UCT)含む18の企業・団体や、医療や保健に携わる専門家など約400人が参加しました。会場でUCTは、『MamyPoko ANTIMOS Pants』の試供品を配布し、自然由来の嫌蚊剤を用いた安全・安心なベビー用紙おむつであることを紹介しました。

ベトナムでは、現地法人Diana Unicharm Joint Stock Company (DUC) が、Dengue熱の感染予防の意識を高めるべく、6月15日の「ASEAN Dengue Day」に合わせ、地元の赤十字やホアンマイ区の医療センターの医療チームと協力してDengue熱防止のイベントを行い、DUCの社員を含む約200名が参加しました。当日は、地域清掃や家庭での蚊の駆除方法、Dengue熱の危険性等についての講義を行い、併せてベビー用紙おむつ『Bobby ANTIMOS Pants』を配布しました。また、2024年11月と12月には、ホーチミン市疾病管理センター(HCDC)と協力してDengue熱予防のポイントを分かりやすくまとめたリーフレットを20万枚作成し、ベトナム南部で配布しました。この取り組みは植物由来の安全・安心な嫌蚊剤を活用した『Bobby ANTIMOS』のベビー用紙おむつやウェットシートタイプの虫よけ商品とHCDCの公衆衛生教育を組み合わせることで、市民のDengue熱に対する理解を深め、効果的な予防の習慣化を目的としています。

マレーシアでは、現地法人UNI-CHARM CORPORATION SDN. BHD.(UCMa)が、「Dengue熱予防強化月間」に合わせて、6月にプタリンジャヤ市議会(MBPJ)と連携して「Dengue熱に負けない! MamyPoko Campaign」を実施し、UCMaの社員約60名、MBPJと保健区事務所から約20名が参加しました。プタリンジャヤ市はDengue熱が頻りに流行するエリアとして知られており、このキャンペーンでは清掃活動およびボウフラ(蚊の幼虫)の駆除を行い、蚊を寄せつけないベビー用紙おむつ『MamyPoko ANTIMOS Pants』を配布しました。



【地域貢献】女性の経済的自立支援

インドの現地法人Unicharm India Private Limited (UCIa)では、2021年度に現地のNGOであるPURE India Trustと協力して、農村地域に暮らす女性を支援するために「Project Jagriti*」を開始しました。本プロジェクトは、インドの農村部における生理用ナプキンの認知・普及を目指すとともに、「生理用ナプキン『SOFY』を販売する」機会を通じてインドの女性に就労機会を提供し、経済的自立を促進することを目的としています。なお、『SOFY』の販売を手掛ける女性起業家「SOFY アンバサダー」は、商品販売はもとより生理に関する正しい知識を広める啓発活動も担っています。UCIaは、プロジェクト開始から2024年度までの4年間で、累計330名の女性を支援しており、彼女たち起業家は本プロジェクトを通じて継続的な収入を得ています。2024年3月8日の国際女性デーには、ブランドシャル地区とシカール地区で開催されたイベントで、「Project Jagriti」を展開する「SOFY アンバサダー」200名を表彰しました。



また、2024年度は、「SOFY アンバサダー」が講師を務める農村部の女性を対象とした啓発セッションを167回実施し、少女を含む6,300名が参加しました。このセッションでは、月経に関する基礎的な知識や生理用ナプキンの正しい使い方を伝えることで、月経衛生習慣の改善に貢献しています。

*「Jagriti」はヒンディー語で「目覚め」の意。

【地域貢献】ケニアでの生理用品の製造と販売

ユニ・チャーム株式会社は、豊田通商株式会社および豊田通商のグループ会社であるCFAO Kenya Limited(CFAO ケニア)と協働し、2025年1月よりケニアで生理用ナプキンの生産・販売を開始しました。この取り組みにより、アフリカで暮らす人々が衛生的な生理用品を“いつでも・どこでも・だれでも、必要な時に”購入できるようにすることで、女性の社会進出に貢献することを目的としています。

この目的を踏まえ、アフリカで求められている品質と手ごろな価格を同時実現した生理用ナプキン『SOFY Long Lasting』をケニアで生産・販売することとしました。今後も、現地での生産・販売体制を充実させ、より多くの女性が安心して生理ケア専用用品を使用できる環境を整えます。



【地域貢献】「GO WITH わんこ プロジェクト」

当社では、2022年度より愛犬と一緒に安心して出かけられる場所や時間を増やす取り組みの「GO WITH わんこ プロジェクト」を推進しています。

これまでに、愛犬と一緒に飛行機に搭乗できる日本初の旅行ツアー(2022年5月)や、一緒に利用できる飲食店(2022年7月)、愛犬と一緒に野球観戦ができるエスコンフィールドHOKKAIDO内の「DOG SUITE」や「DOG PARK」開設(2023年3月)などを実施しました。2024年度は、「DOG SUITE」以外でも一緒に野球観戦が楽しめる「ワンだふるフェスティバルin エスコンフィールドHOKKAIDO」への協賛や、三井不動産商業マネジメント株式会社(三井アウトレットパーク 木更津)および株式会社スリーアローズ(ペットスリー)と共同で、愛犬と一緒に買い物を楽しむ「マナーアップキャンペーン」の開催、楽天トラベル上で「『ワンちゃんと旅行に行こう』キャンペーン」を実施するなど、愛犬と一緒に出かけられる場所や時間を増やす取り組みをさまざまな業種の企業・団体と連携し、推進しました。なお、周囲への配慮の一環で、各種活動には当社の犬用吸収ウェア『マナーウェア』の着用を併せて案内し、マナーを大切にしたい愛犬との暮らしを啓発しています。



web GO WITH わんこ

<https://jp.unicharmpet.com/ja/manner-wear/gowithwanco/home.html>

【地域貢献】「Hartz Loving Paws™」プログラム

アメリカの現地法人The Hartz Mountain Corporation (Hartz)は、動物の保護施設の支援、保護されたペットの里親探しや一時預かり先との連携などを通じて、人とペットが幸せに共生する社会の実現を目指す「Hartz Loving Paws™」プログラムを実施しています。

2024年7月には、保護されたペットたちが新しい家族を見つけるために、Greater Good Charities Good Flightsと連携し、南部から東海岸へ90匹以上の保護ペットを空輸しました。空輸された保護ペットは、セント・ヒューバート動物福祉センターに運ばれ、里親探しの前に必要な医療を受けました。これまでにHartzとGreater Good Charities Good Flightsの提携を通じて、200匹以上の犬や猫の里親探しを支援しています。

web Hartz Loving Paws

<https://www.hartz.com/hartz-loving-paws/>



【被災地支援】社員参加型のマッチングファンド

2011年に発生した東日本大震災被災地への支援と、身近な節電・省エネを通じた環境負荷低減を目的にマッチングファンドと連携させた「スーパークールビズ/ウォームビズ」活動*を継続しています。2024年度までの14年間でのべ31,744名の社員が参加しました。

* 就業中に着用できるオリジナルのポロシャツ、ジャンパーなどを社内で販売し、その購入代金相当額と同額を「マッチングファンド」として被災地へ支援する社員参加型の取り組み。

【被災地支援】能登半島地震への支援

2024年1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々へ、政府の要請に基づき一般社団法人日本衛生材料工業連合会を通じて、緊急支援物資(生理用ナプキン、大人用紙パンツ、ベビー用紙おむつ)を届けました。また、救援活動や復旧支援を目的に、日本赤十字社を通じて1,000万円を寄付するとともに、「マッチングファンド」を活用して社員から募った寄付金と合わせて503.5万円を寄付しました。

【被災地支援】台風の被災地への支援

ベトナムの現地法人Diana Unicharm Joint Stock Company (DUC)は、超大型台風“Yagi”によって深刻な被害を受けたベトナム北部の人々に、ベトナム祖国戦線委員会を通じて社員から募った寄付金を含む12億VNDの義援金を寄付しました。

また、DUCは、暴風雨と洪水で甚大な被害を受けた北部の6省に、保健省母子保健局と連携してデング熱予防を目的にウェットシートタイプの虫よけ商品『Bobby ANTIMOS Wipes』を36,000個寄付しました。

▶ 2024年度の主な社会貢献活動

【健康】

医療機関／福祉施設等への支援等

- ベトナム：孤児や障がい児などをケアしているバクニン省の社会保護センターを訪問し、ベビー用紙おむつや生理用品などを寄付
- ベトナム：ベトナム国立血液輸血研究所と協働で「献血デー」を開催し、社員や家族、パートナー企業4社の社員など106名以上が参加。35,300mlを献血
- マレーシア：「献血と健康キャンペーン2024」を開催し、社員やサブライヤーなど70名が登録し、50名が献血を実施
- 台湾-大中華圏：重い病気を抱える患者のいる家族を対象に、146名の社員有志から募った寄付金NT\$252,000と合わせてNT\$756,000を寄付。寄付金は病気の治療、リハビリテーション、メンタルカウンセリング、家族の経済支援に充当
- 台湾-大中華圏：社会福祉団体に商品を寄付
- インド：NGO団体The Earth Saviours Foundationとパートナーシップを結び、シェルターで暮らす人々のために物資と寄付金を寄付
- オーストラリア：がん評議会を支援するためお茶会（Australia's Biggest Morning Tea）を開催して募金活動を行い、AUD190を寄付
- オーストラリア：がん患者をサポートする「水仙の日」に昼食会を開催してがんカウンセラーのための募金活動を行い、AUD42を寄付
- インドネシア：東ジャワ州のモジョケルトにある児童養護施設を訪問し、ブカブアサ（断食明け）の食事をを行い、IDR5,246,000を寄付
- ブラジル：車椅子と交換するためのボトルキャップの回収箱を設置
- ブラジル：弱い立場の高齢者を収容する非営利施設に大人用紙パンツ5,520枚、ウェットタオル240個を寄付
- ブラジル：カンピーナスの老人ホームでのボランティア活動に社員4名が参加し、大人用紙パンツを寄付
- 日本：株式会社ツルハホールディングスと協働で社会福祉法人札幌市社会福祉協議会へ車椅子20台、マスク10,000枚を寄付

ピンクリボン活動支援

- 日本：17年連続で本活動に協賛。Webサイトやパッケージ等を通じた啓発活動と対象商品の売り上げの一部を寄付
- インドネシア：乳がん財団と協働し、女子中高生向けのキャンペーンを開催
- タイ：乳がん検診の啓発活動で研究機関と協働

P.105 【健康】ピンクリボン活動支援

初潮教育・月経教育

- 各国・地域：初潮教育や月経教育を実施
- P.104** 【健康】#NoBagForMe
- P.105** 【健康】初潮教育・月経教育
- インド：「WE CARE Initiative」で、他団体と協力して月経に関する健康意識向上のために救援活動や教育普及活動などを実施
- インド：5月の月経衛生デーでは、スラムのコミュニティなどで月経衛生に関する4つのイベントを開催し、15,000名以上が参加。ジャイプール政府病院に生理用品の自動販売機を設置
- インド：世界環境デーにジャイプール刑務所に植樹し、女性受刑者に月経の衛生と管理に関する啓発活動を実施
- タイ：バンコクに隣接するノンタブリー県の県庁主催のイベントで初潮教育に関する勉強会を実施し、民生委員約130名が参加

排泄ケア啓発活動

- 日本：教育機関などと連携し「尿もれケア・排泄ケア」講座を22回実施し、1,417名が参加
- インドネシア：インドネシア大学医学部と高齢者の床ずれについて共同研究を実施
- タイ：工場の近隣コミュニティで寝たがりの患者や介護者に、大人用紙パンツの正しい着用方法などに関する教育活動

ペット支援

- アメリカ：「Hartz Loving Paws™」プログラムを通じた動物の保護施設や里親の支援
- P.107** 【地域貢献】「Hartz Loving Paws™」プログラム
- 韓国：猫保護協会の野良猫保護活動を支援し、ペットケア商品857ケースを寄付
- 中国：犬や猫の保護活動を行うNGO団体に政府ペットケア商品を寄付
- 台湾-大中華圏：創立記念日に「新北市政府動物保護防疫處」で飼育施設内の清掃活動を実施

【地域貢献】

子育て支援への協賛等

- 日本：静岡県掛川市、鹿児島県志布志市、大崎町で出生時に紙おむつを提供
- 日本：愛媛県「愛顔の子育て応援事業」、愛媛県四国中央市の紙おむつ支給事業に協賛
- タイ：1月第2土曜日の「子どもの日」に月経ケアに関するセミナー等を開催し、5校で2,244名の児童が参加
- 韓国：ひとり親家庭を支援する協会に生理用ナプキン1,993ケース、ベビー用紙おむつ1,226ケースを寄付
- オーストラリア：支援を必要とする弱い立場の家庭に配布するために、The Nappy Collectiveの「Clean Bums for Little Ones」キャンペーンに紙おむつ38,470枚を寄付
- オーストラリア：メルボルンの小児病院を支援するためのチャリティワークに社員8名が参加
- オーストラリア：赤ちゃんや子ども、母親を支援する慈善団体「Our Village」の支援に社員9名が参加し、寄付されたベビー用品や洋服などのクリーニングを実施。ベビー用紙おむつの寄付も継続。
- ベトナム：「ベトナムの子供たちのための行動月間」にちなんだ活動を継続し、バクニン省産業貿易局と協力して孤児などが暮らすチャリティーハウスに食料品を寄付
- 台湾-大中華圏：創立記念日に台湾各地から寄付された古靴をケニアの子どもたちに贈る活動を実施

物資支援

- 中国：事務所所在地である上海の長寧区と青浦区の貧困家庭の未成年164名（長寧区70名、青浦区94名）に生理用ナプキンを寄付
- 韓国：亀尾市と「Share Pad Campaign」協定を締結。生理用ナプキン2,166ケース、ベビー用紙おむつ215ケースを寄付
- 韓国：ミャンマーのクーデターから逃れた青少年難民へ生理用ナプキン665ケースを寄付
- ベトナム：チュオンサ島にウェットティッシュ720個を寄付
- オーストラリア：生活困窮家庭を支援するために物資のリサイクルを支援
- マレーシア：BIGファーマシー・グループと協働して、大人用紙パンツを必要とする高齢者介護施設を支援するための消費者向けプロモーションを実施し、高齢者介護施設に大人用紙パンツと食料品を寄付。同時に、社員30名を含むボランティアが施設内の清掃や高齢者の散髪、健康チェックなどを実施

女性支援

- インド：農村地域に住む女性を支援する「Project Jagriti」による女性起業家を支援
P.106 【地域貢献】女性の経済的自立支援
- インド：国際女性デーに合わせてダウサで開催されたイベントで、2,000パックの生理用品を大学に寄付し、子宮頸がんと乳がんに関する啓発セッションを実施
- インド：ハリヤナ刑務所当局とNGOインディア・ビジョンとの協力で発足したプロジェクト「Project SAKHI」による、ハリヤナ州の15の刑務所における月経衛生管理教育と生理用品1年分の提供を通じた女性受刑者への支援
- 韓国：刑務所の女性受刑者に生理用ナプキン10ケースを寄付
- オーストラリア：卵巣がんと乳がんを支援するためのチャリティウォークに社員5名が参加
- インドネシア：国際女性デーにジャカルタのビヌス大学で女性躍進応援イベントを開催し、100名超の大学生が参加
- インドネシア：「女性に対する暴力撤廃キャンペーン」に合わせて、南ジャカルタ市のエンパワーメント・児童保護・人口管理局と共同で、「Empowering Women, Towards Gender Equality」をテーマに100名の主婦を対象に男女平等教育を実施
- 中国：eコマースの配達業務を担う女性ドライバー約20名に、生理に関する勉強会を実施

清掃活動

- オーストラリア：「Clean Up Australia Day」に12名の社員が参加し、メルボルンのビーチでゴミ拾いを実施
- 台湾-大中華圏：ドラッグストアチェーン屈臣氏（ワトソンズ）が主催する「グローバルボランティアデー活動～海を守り、ビーチをきれいにGO～」に社員14名含む約300名が参加し、約591kgの漂着物を回収
- タイ：工場のあるサラブリー県のワットノンプラモー学校において、「ゴミの分別とリサイクルの重要性」をテーマとした教育活動を実施
P.54 使用済み商品の正しい廃棄方法の啓発
- 台湾-大中華圏：創立記念日に新北市三峡区で河川の清掃活動を実施し、27.12kgのゴミの回収とビーチの清掃を実施
- ベトナム：「ASEAN Dengue Day」に合わせて、蚊の繁殖を防ぐためゴミの撤去、淀んだ水の排除、生い茂った草木の刈り込みなどを実施。
P.106 【健康】デング熱に関する啓発活動

スポーツを通じた地域貢献

- 日本：2020年より、日本プロサッカーリーグJ2、FC今治の「トップパートナー／共生社会実現パートナー」を継続し、アシックス里山スタジアムで「ユニ・チャーム マッチデー」を開催
- 日本：男子プロテニス協会公認「ユニ・チャーム トロフィー 2024愛媛国際オープン」に協賛
- 日本：プロ野球独立リーグのベースボール・チャレンジ・リーグに所属する福島県の福島レッドホープスをスポンサーとして支援

地域活性化

- タイ：近隣の学校やコミュニティで、天然素材（Kaffir lime）を使った食器用洗剤や蚊を防ぐハーブの作り方を指導。学校では、経済的支援につながるよう食器用洗剤の販売チャンネルも創出
- 日本：生産拠点のある福島県東白川郡棚倉町、静岡県掛川市、三重県名張市、兵庫県伊丹市、香川県観音寺市、福岡県京都郡苅田町、埼玉県上里町のふるさと納税返礼品に当社の商品を採用
- 日本：企業版ふるさと納税を通じた愛媛県の未来を担う子供たちへの支援活動（次世代球児育成事業／四国中央市電子図書館の児童書購入）

【被災地支援】

災害支援・被災地継続支援活動

- 日本：2011年度より社員参加型マッチングファンドを継続
P.107 【被災地支援】社員参加型のマッチングファンド
- 日本：能登半島地震への支援
P.107 【被災地支援】能登半島地震への支援
- インドネシア：2024年3月に発生した地震で最も被害を受けた地域のひとつであるグレスック県に、現地の地方防災局を通じて、商品を寄付
- ブラジル：2024年4月末～5月にブラジル南部のリオグランデス州で発生した大雨による大洪水の被災者を支援するために、社員から募った衣類や食料品17ケースと合わせて1,700パック以上のベビー用紙おむつを寄付
- ベトナム：台風の被災地への支援
P.107 【被災地支援】台風の被災地への支援
- マレーシア：2024年11月末～12月に西マレーシアの東海岸、クランタン州とトレンガヌ州で発生した洪水被害に対し、NGOのひとつであるKARISMA Humanitarian Outreach Missionと協力して、ベビー用紙おむつ180ケースなどを寄付